

お手入れ（フルート）

管楽器編

楽器の正しいお手入れ方法をご紹介します！

管楽器の組み立て方、日頃のお手入れの仕方をご紹介します。管楽器は個人のお手入れ次第で楽器の状態が大きく変化します。常に吹きやすく、綺麗な状態が保てるように正しいお手入れ方法を身に付け、習慣化しましょう。

フルート まっすぐな管でお手入れしやすそうですが、メカニズムは精妙でデリケート。ホコリやゴミは厳禁です。こまめなお手入れを心がけましょう。

■演奏前の注意

組み立て方



きれいなクロスでジョイントを軽く拭いてから組み立てましょう。ゴミやホコリが付いたままだとキズの原因になります。



唄口と胴部管に付いているキイの中心、足部管の軸が一直線になるように組み立てましょう。



組み立てるときは唄口やキイを握らないように注意しましょう。



アジャストマークが刻印されている商品はマークとマーク、あるいはマークとロゴが合うように組み立てると正しい向きになります。

楽器の置き方

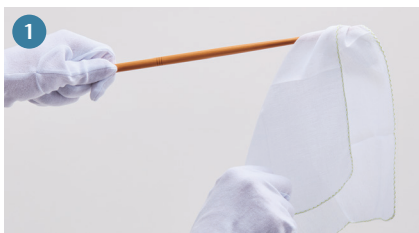


練習の合間に楽器を置く場合はスタンドに立てるか、人や物がぶつからないように注意して安定した角度で置きましょう。



椅子や机に置く場合はキイやトーンホールが下を向かないようにしましょう。キイが曲がってしまうことがあります。

■演奏後のお手入れ



ガーゼ（またはインナークロス）を巻いたクリーニングロッドで管内の汚れを取り除きましょう。



管内に当たらないよう、ロッドの先端をガーゼで覆いましょう。



ガーゼを巻いた方向にゆっくり回しながら出し入れしましょう。



タンポとトーンホール（音孔）の間に水分が溜まるとタンポが傷む原因になります。クリーニングペーパーを挟んで水分を取り去りましょう。キイを閉じた状態でペーパーを引っ張らないようにしてください。



タンポがベタつく場合はパウダーペーパーを使いましょう。パウダーペーパーはタンポが乾いてから使うようにしてください。パウダーがタンポに付くようペーパーの向きに気をつけてください。



楽器の表面に付いた汚れや指紋をポリシングクロスで優しく丁寧に拭き取って完了です。